2027年3月期
第2四半期 決算説明資料

2026年11月13日開示(決算説明会は18日開催予定)

株式会社Smile Holdings

証券コード:7084

Smile Holdings



※2026年6月開業 産後ケアホテル”Villa Mom 東京・有明”

トピックス：2Q（3ヶ月実績）の売上・各利益 ⇒ 前年同期比2倍超の大幅成長

Smile Holdings

- 第2四半期（3ヶ月実績）はM&A効果により売上高、のれん償却前営業利益・当期純利益、EBITDAの主要4指標すべてで前年同期比2倍超の大幅成長を達成
- 第3四半期以降もこの力強い伸び率は継続する見通し

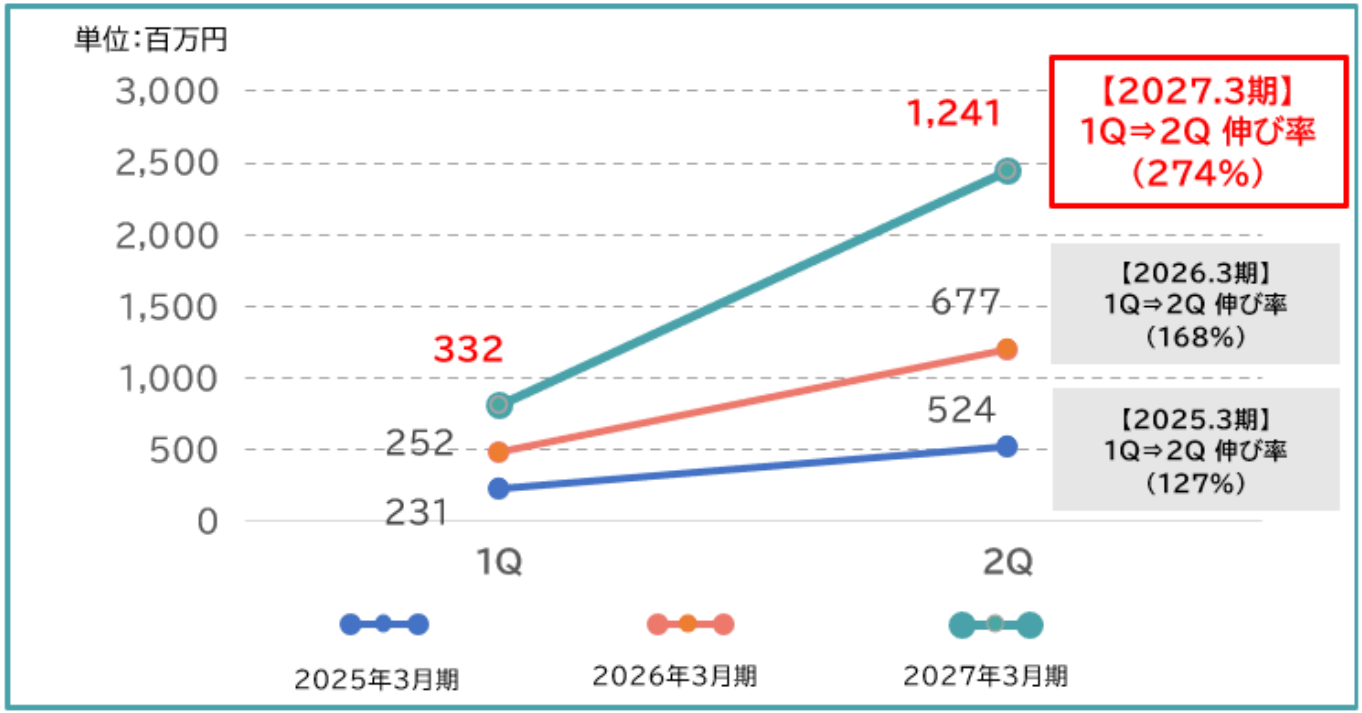
※ 当第2四半期より、WITHホールディングスのPL（損益計算書）を連結開始。併せて“のれん償却費”も計上開始。

	2026年3月期 1Q（3ヶ月のみ）	2027年3月期 1Q（3ヶ月のみ）	1Q 伸び率	2026年3月期 2Q（3ヶ月のみ）	2027年3月期 2Q（3ヶ月のみ）	2Q 伸び率
売上高	33.9億円	37.3億円	1.1倍	35.5億円	73.0億円	2.1倍
営業利益	0.7億円	1.4億円	2.1倍	2.4億円	4.1億円	1.7倍
のれん償却前営業利益	—	—	—	2.4億円	5.6億円	2.3倍
当期純利益	0.6億円	0.7億円	1.1倍	1.4億円	2.6億円	1.8倍
のれん償却前当期純利益	—	—	—	1.4億円	4.0億円	2.8倍
EBITDA	2.5億円	3.3億円	1.3倍	4.2億円	9.0億円	2.1倍

© 株式会社 Smile Holdings

- 第2四半期累計は、EBITDA1,241百万円（前年同期比183%）と過去最高
- 当社グループの稼ぐ力（キャッシュ創出力）は一気に加速する新たなステージへ突入
- 2027年3月期における1Q⇒2QのEBITDA伸び率は274%となり、直近2期間を上回る最大の成長率を達成（下部グラフ参照）

【EBITDAの1Qから2Q　3期比較】



※1Qは4月～6月の合計値、2Qは4月～9月の合計値

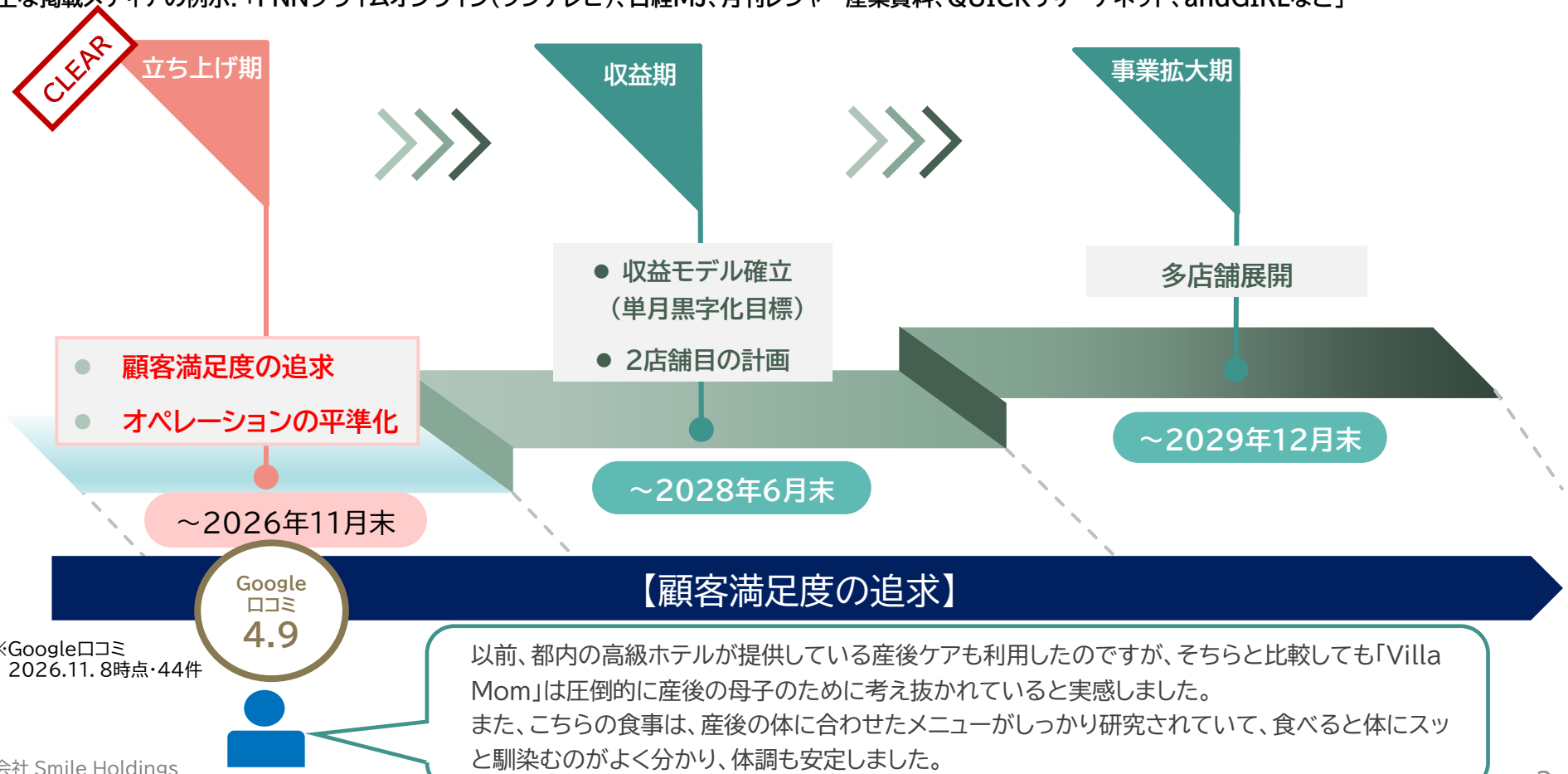
© 株式会社 Smile Holdings

トピックス：【新規事業】産後ケアホテルVilla Mom東京・有明　開業から好調

Smile Holdings

- 2026年6月のオープン以来、月次売上高は順調に伸張。幅広いメディア（※）にも多数取上げられる。
- 6泊以上の長期利用は全体の24%を占め、ホテルコンセプト『産後ママに、心と体がととのう時間を。』を体現
- 産後の母子のニーズに寄り添ったサービス・環境が評価され、Google口コミ評価4.9点（業界トップクラス）を獲得。立ち上げ期の目標「顧客満足度の追求」、「オペレーションの平準化」を早期に達成。

※ 主な掲載メディアの例示:「FNNプライムオンライン（フジテレビ）、日経MJ、月刊レジャー産業資料、QUICKリサーチネット、andGIRLなど」



© 株式会社 Smile Holdings

【業績比較】2026年3月期・2027年3月期　第2四半期　累計(4-9月)

Smile Holdings

売上高

2026.3期 2Q累計　69.5億円

40.9億円増・159%

2027.3期 2Q累計　**110.4億円**

EBITDA

2026.3期 2Q累計　6.7億円

5.6億円増・183%

2027.3期 2Q累計　**12.4億円**

営業利益

2026.3期 2Q累計　3.1億円

【のれん償却前】
4億円増・228%

2027.3期 2Q累計　**5.6億円**

【参考】のれん償却前　**7.1億円**

当期純利益

2026.3期 2Q累計　2.1億円

【のれん償却前】
2.6億円増・ 223%

2027.3期 2Q累計　**3.3億円**

【参考】のれん償却前　**4.7億円**

運営事業所数

2026.3期 2Q累計　81事業所

+103事業所

2027.3期 2Q累計　**184事業所**

Smile Project：85事業所
WITHグループ　：99事業所

児童数

2026.3期 2Q累計　5,343人

218%

2027.3期 2Q累計　**11,638人**

Smile Project：5,561人
WITHグループ　：6,077人

© 株式会社 Smile Holdings

【業績比較】2026年3月期・2027年3月期　第2四半期のみ（7-9月）

Smile Holdings

- 当第2四半期（7-9月期）は、WITHグループのP/Lが3ヶ月間フルに寄与した初の四半期であり、当社の『新たな正常収益力』を示す数値となります。
- 売上高（73.0億円）およびEBITDA（9.0億円）はともに前年同期比で2倍を超える急拡大を見せ、今後もこの「前年同期比2倍」を新たなベースラインとして、業績拡大を継続する見通しです。

売上高

2026.3期 2Q（3ヵ月）　35.5億円

37.5億円増・205%

2027.3期 2Q（3ヵ月）　**73.0**億円

営業利益

2026.3期 2Q（3ヵ月）　2.4億円

【のれん償却前】 3.3億円増・234%

2027.3期 2Q（3ヵ月）　**4.1**億円

【参考】のれん償却前　**5.6**億円

当期純利益

2026.3期 2Q（3ヵ月）　1.4億円

【のれん償却前】 2.5億円増・ 275%

2027.3期 2Q（3ヵ月）　**2.6**億円

【参考】のれん償却前　**4.0**億円

EBITDA

2026.3期 2Q（3ヵ月）　4.2億円

4.8億円増・214%

2027.3期 2Q（3ヵ月）　**9.0**億円

© 株式会社 Smile Holdings

2027年3月期 第2四半期決算ハイライト

Smile Holdings

前提条件

- 貸借対照表：WITHグループを2026年6月末基準でB/S連結済
- 損益計算書：当第2四半期からWITHグループのP/L 3ヶ月分を連結開始

  当第2四半期にて「のれん償却費1.4億円」を計上開始

  上記、のれん償却を吸収しても、売上高、EBITDA、営業利益、当期純利益で対前年同期比1.5倍以上の大幅増加

業績

- 当社グループはマーケット環境が良好な東京都、埼玉県を中心に保育園を展開しており、総じて保育園事業は充足率が一段と向上。さらに費用コントロールを継続的に徹底するなか、売上高、EBITDA、営業利益は第2四半期として過去最高を達成。

新規事業

- 2026年9月時点　産後ケアホテル”Villa Mom 東京・有明”について6月開業以降、予約は好調。オペレーションの改善を重ね、顧客満足度は目標達成。

  【Google 口コミ 4.9点】

© 株式会社 Smile Holdings

当社の正常収益力

Smile Holdings

- 今期（2027年3月期）はWITHグループの連結期間が9ヶ月分の変則的な決算期であり、かつM&A関連の一過性費用が発生する先行投資期。
- 来期（2028年3月期）はWITHグループが通期で寄与するため、M&A実施前の2026年3月期比で売上高2倍、営業利益4倍、当期純利益およびEBITDA3倍を見込む。
- WITHグループ通年寄与・一過性費用なしとなる『当社の正常収益力を示す2028年3月期業績予想（※1）』の達成へ向け、計画シナリオ通り、あるいはそれを上回る力強いペースであることを確認

※1：WITHグループの業績が12ヶ月分寄与、一過性費用が発生しない
2026年6月12日開示「2027 年3月期および 2028 年3月期の通期連結業績予想の公表に関するお知らせ」

【正常収益力】

（百万円）	【 2027年3月期 】 2Q実績	成長率（前期2Q比）	通期予想	成長率（2026.3期比）	【 2028年3月期 】 通期予想	成長率（2026.3期比）
売上高	11,043	159%	25,500	176%	28,500	196%
EBITDA	1,241	183%	2,500	226%	3,300	298%
営業利益	564	181%	1,000	270%	1,500	405%
経常利益	441	142%	450	129%	1,100	314%
当期純利益	331	155%	221	100%	700	318%

© 株式会社 Smile Holdings

通期予想に対する進捗率

- 当期純利益は既に通期予想に対する進捗率150%を達成。
- M&A一過性費用4億円(ファイナンス組成費用:2億円、本社統合費用:2億円)が第3四半期、第4四半期で計上予定であるが、織り込み済のため、**通期予想数値の達成確度は高い。**
- さらに当社グループは**「下期偏重の収益構造」**が事業特性であることからも盤石な進捗状況。

(百万円)	2027年3月期 通期予想	2027年3月期2Q 実績	進捗率
売上高	25,500	11,043	43%
EBITDA	2,500	1,241	50%
営業利益	1,000	564	56%
経常利益	450	441	98%
当期純利益	221	331	150%

© 株式会社 Smile Holdings

中間配当・株主優待の実施

- 力強い業績拡大を背景に、**業界屈指の株主還元**を実行

【中間配当】

- 2026年9月末基準で1株当たり52.5円を配当実施
- 前回（2026年3月末基準）の47.5円から＋5円の増配を実現
- 通期での年間配当は105円を予定

【株主優待】

- 2026年9月末基準でデジタルギフト15,000円分を贈呈（300株以上を6ヶ月以上継続保有）
- 従来（2025年9月末・2026年3月末基準）の各7,500円分から2倍へと大幅拡充
- 年間贈呈額30,000円分を下限設定

© 株式会社 Smile Holdings

株主還元方針（配当政策・株主優待）

Smile Holdings

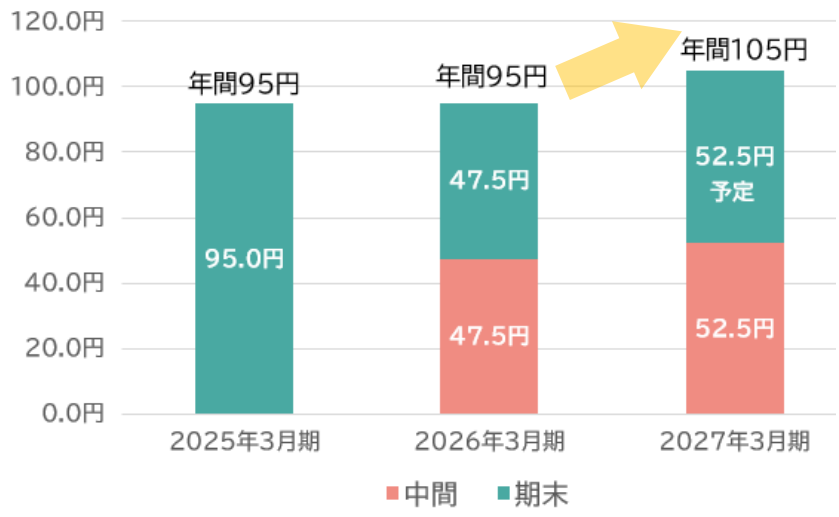
➤ **業界屈指の【配当】と【株主優待】は、業績拡大に応じた継続的な株主還元を約束**

配当方針：2027年3月期は増配・高配当株

年間配当

105 円

配当推移



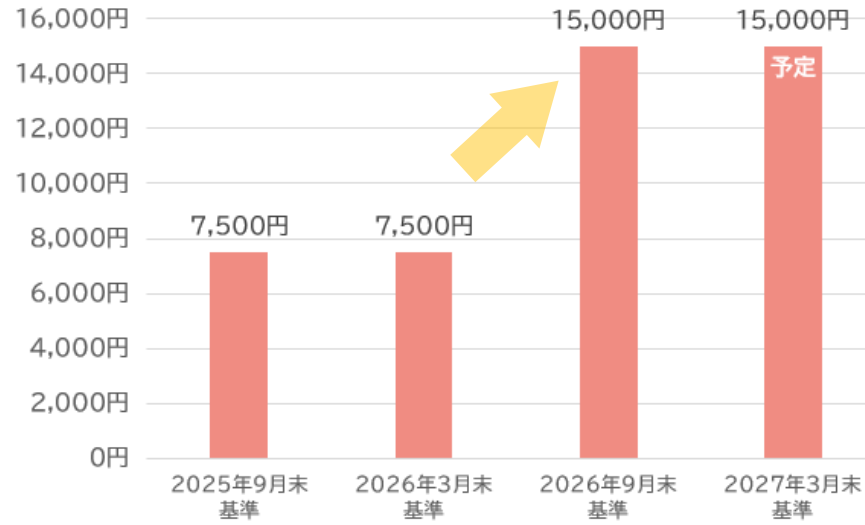
株主優待：業界屈指のデジタルギフト

デジタルギフト（300株以上を6カ月継続保有）

年間 30,000 円分

▶ 年間30,000円分に下限設定。2倍へ

優待推移



© 株式会社 Smile Holdings

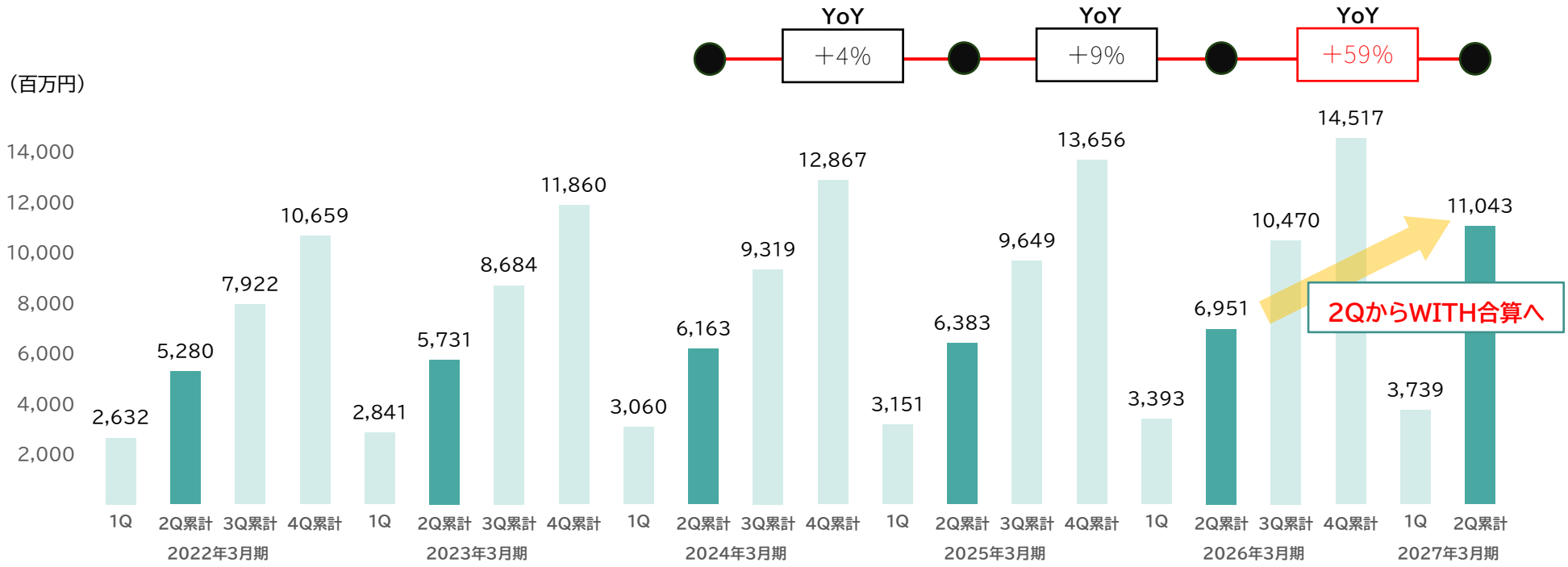
Appendix

© 株式会社 Smile Holdings

2027年3月期 第2四半期決算 売上高の推移

Smile Holdings

- 既存保育事業のオーガニックな成長に加え、第2四半期からのWITHグループ連結開始に伴い売上高が飛躍的に拡大。上場以来の連続増収を維持し、過去最高を更新。



過去最高

11,043百万円

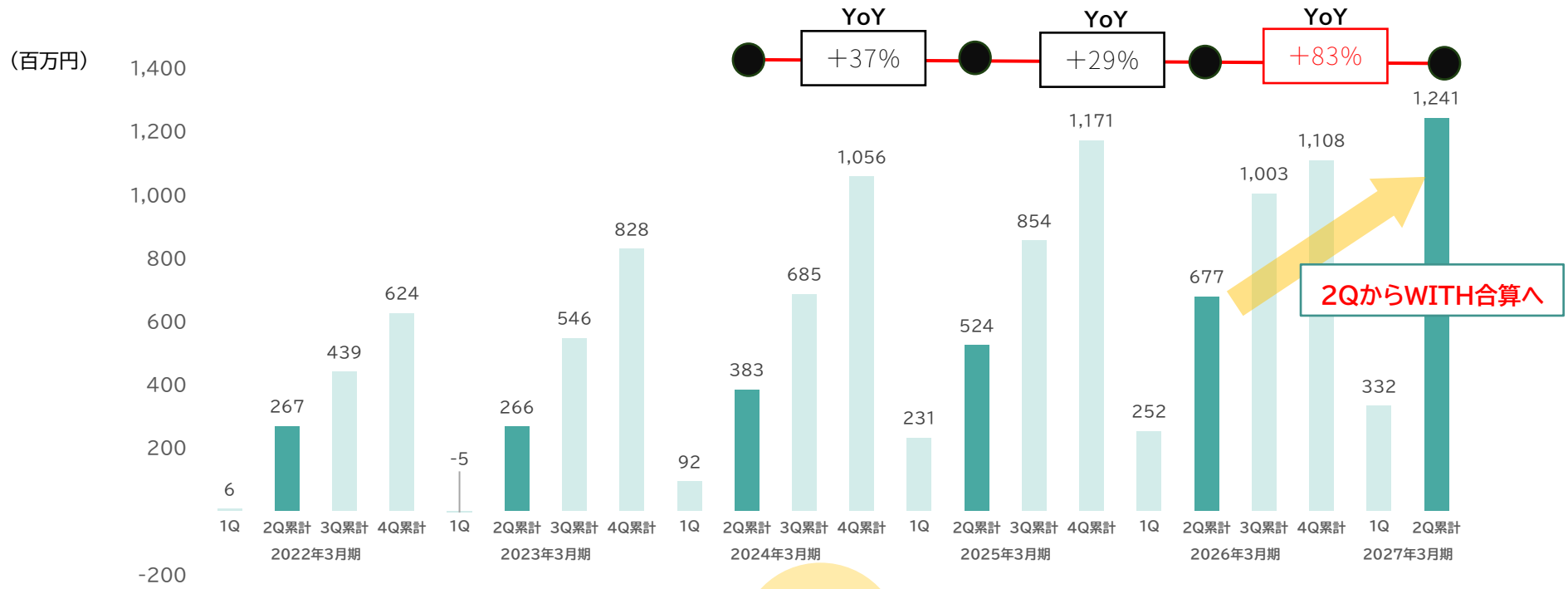
前年同期比 +4,092百万円(159%)

© 株式会社 Smile Holdings

2027年3月期 第2四半期決算 EBITDAの推移

Smile Holdings

- WITHグループの強固なキャッシュ創出力が加算され、第1四半期から374%と飛躍的に成長し、前年同期比183%を達成。
- 本業の強固なキャッシュ創出力は新たなステージへ突入し、過去最高を大幅に更新



過去最高

1,241 百万円

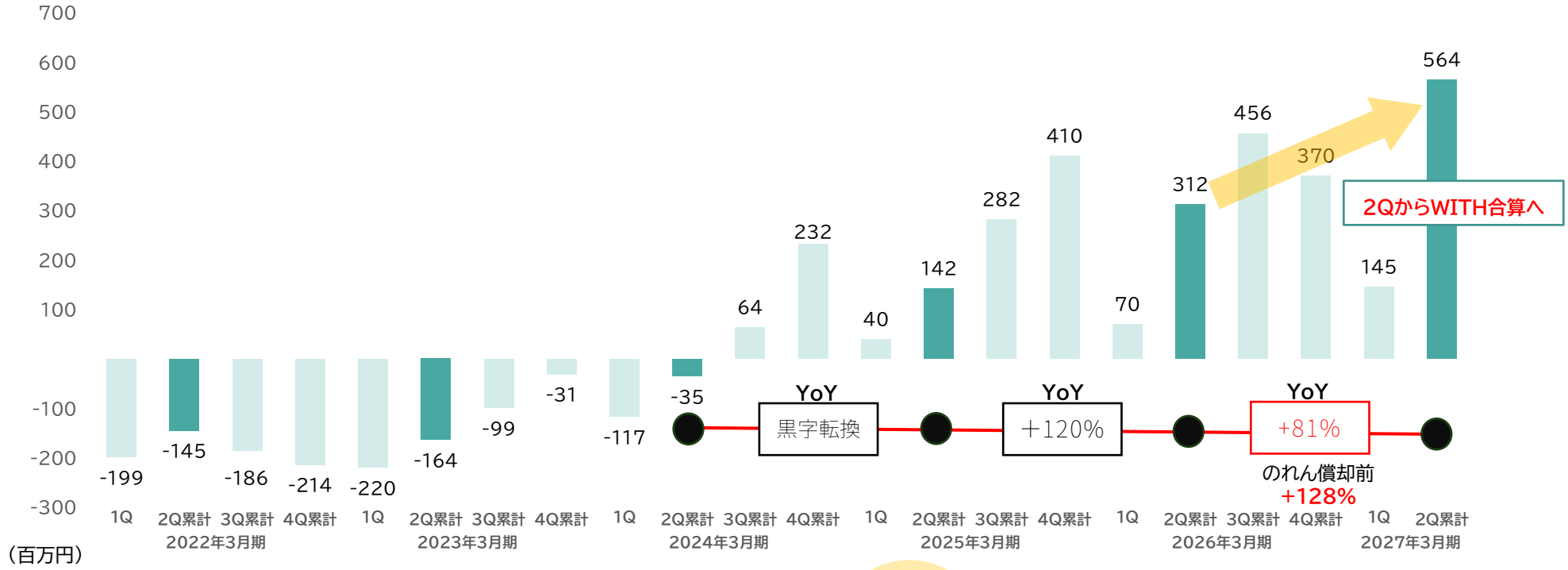
前年同期比 +564百万円(183%)

© 株式会社 Smile Holdings

2027年3月期 第2四半期決算 営業利益の推移

Smile Holdings

- WITHグループの強固な収益力が加算され、1.4億円の“のれん償却”負担を完全に吸収。前年同期比181%の大幅増益で過去最高を更新



過去最高 564百万円

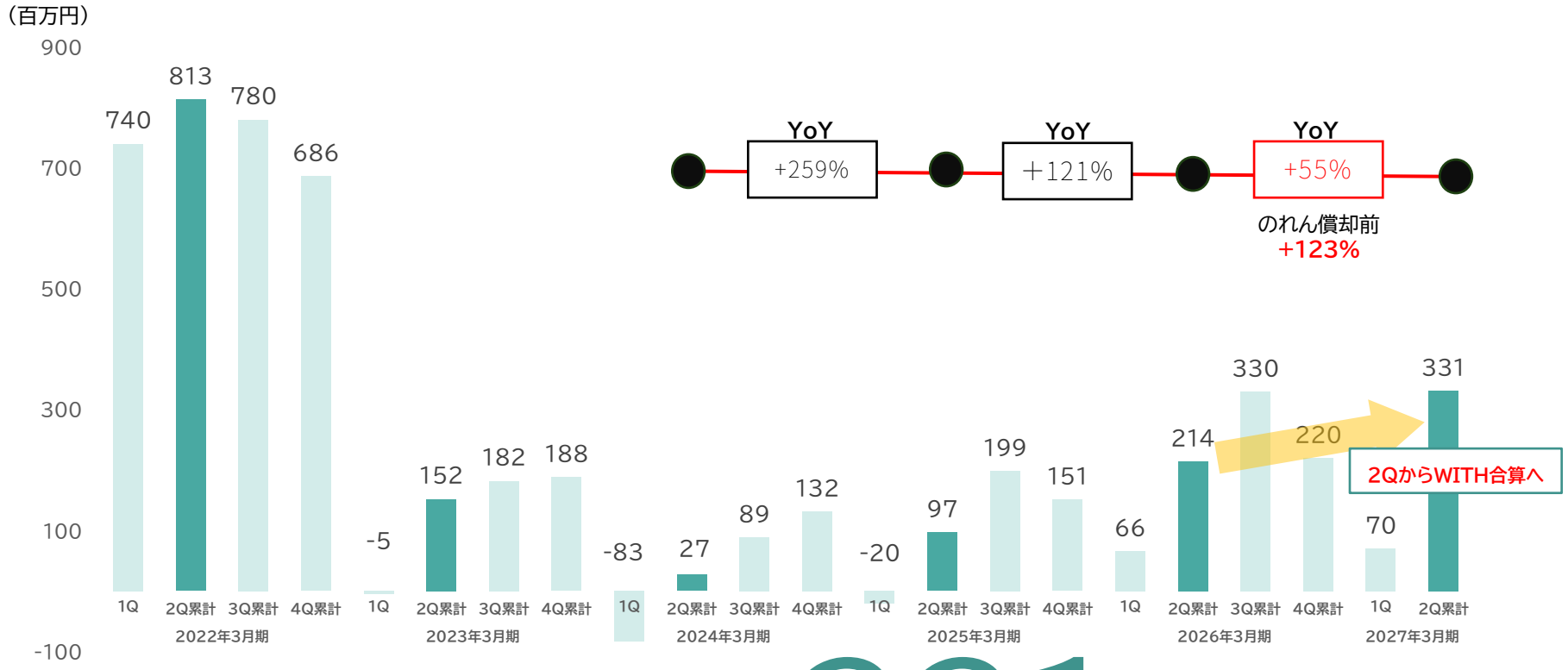
前年同期比 +252百万円(181%)

© 株式会社 Smile Holdings

2027年3月期 第2四半期決算 当期純利益の推移

Smile Holdings

- WITHグループの強固な収益力が加算され、当期純利益は前年同期比155%を達成。
- 本格的な「利益倍増フェーズ」を体現する着地となり、引き続きコストコントロールを図り、利益の上積みを狙う。



331百万円

前年同期比 +116百万円(155%)

© 株式会社 Smile Holdings

2027年3月期 第2四半期決算 B/S推移

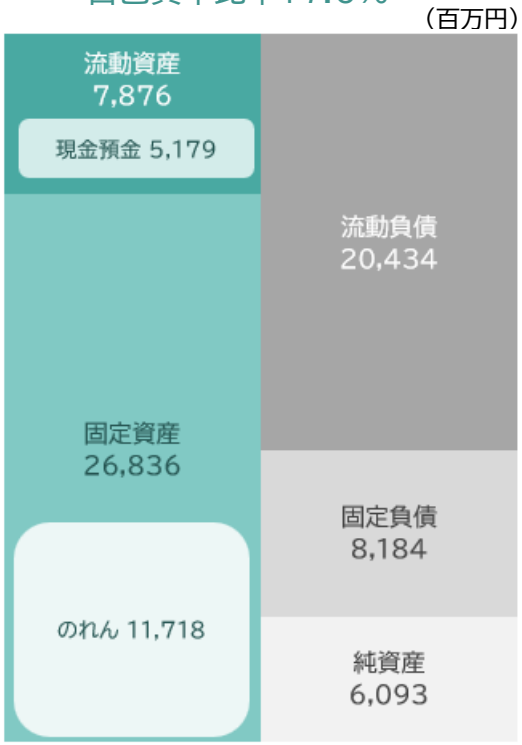
Smile Holdings

- 戦略的な資金調達（レバレッジ）によるM&A実行後も、約45億円の潤沢な手元流動性を維持しており、財務の安全性は十分にコントロールされています。計上しているのれん約115億円につきましても、手元の資金力と今後のキャッシュ創出力によって確実なリターンへと繋げてまいります。

2026年6月末

総資産34,712百万円

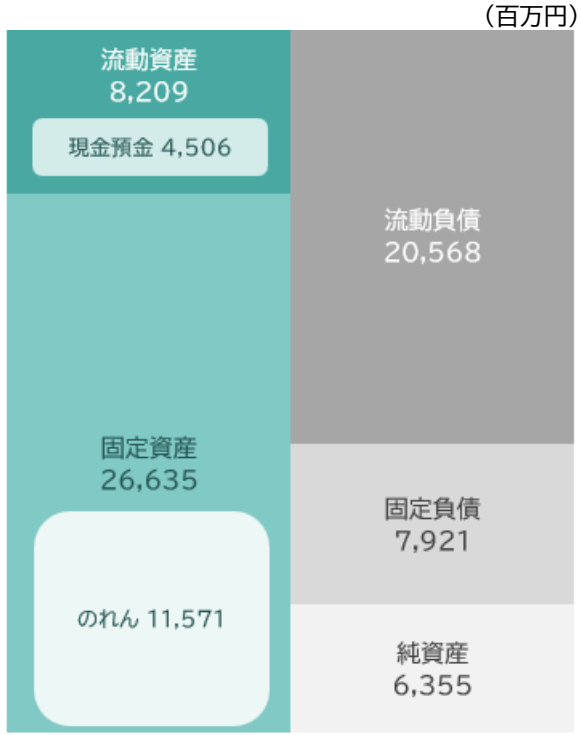
自己資本比率17.6%



2026年9月末

総資産34,844百万円

自己資本比率18.2%



© 株式会社 Smile Holdings

のれんの考え方

Smile Holdings

のれんの償却について

- **長期的な事業価値を反映した適切な償却計画**

  WITHグループが持つ強固な事業基盤と長期的な収益貢献を見込み、のれん償却期間を20年に設定

- **潤沢なキャッシュフローによる確実な財務規律の維持**

  WITHグループが創出するキャッシュフローにより、M&Aに伴う借入金返済（年間返済額約12億円）および

  のれん償却費を十分にカバー。手元に残る潤沢なキャッシュを、次なる成長に再投資する好循環サイクルを確立済

のれんの減損について

のれんは、以下の理由から将来にわたり極めて毀損しにくい（減損リスクが極めて低い）資産であると評価しています。

- **保育事業は自治体からの委託事業でありインフラ型ビジネス**

  WITHグループの保育事業は自治体からの委託事業がベースとなるため、市況の悪化等に左右されない、

  非常に安定的な収益基盤と高い予見性を有しております。

- **需要の底堅い「首都圏ドミナント展開」による優位性**

  展開エリアを、国内トップクラスの出生数を誇る首都圏（1都2県）に集中。特に主力の東京都においては出生数の反

  転（増加）傾向も確認されており、中長期的な保育ニーズが担保された良好な事業環境にある。

© 株式会社 Smile Holdings

創業以来、
　私たちは、子供たちの成長を支えてきました。

これからは、
　家族の人生そのものを支えていきます。

「Family Wellness Company」

Smile Holdings

ディスクレーマー

- 本資料は、当社の事業内容及び経営状況についてご理解いただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。
- 本資料に記載された情報は、作成時点において当社が入手可能な情報に基づいていますが、その正確性及び完全性を保証するものではありません。
- 本資料には、将来の業績、計画、戦略等に関する見通しが含まれています。これらの見通しは、作成時点における仮定及び判断に基づくものであり、さまざまなリスクや不確実性により、実際の結果が見通しと大きく異なる可能性があります。
- 本資料における企業結合に伴う取得原価の配分（PPA）は暫定的な会計処理に基づいております。今後の手続き完了に伴い、のれんの金額や償却費などに関連する業績数値が変動する可能性があります。
- 投資に関する最終的な判断は、投資家ご自身の責任において行ってください。
- 本資料の無断転載、複製又は第三者への提供はご遠慮ください。

© 株式会社 Smile Holdings